

病院での検査値から患者個別の“健康偏差値”を決定する方法の研究

A study of how to determine the "health deviation value" of the lab tests for each patient

調査研究代表：産総研 城 真範 shiro@aist.go.jp

産総研代表者：情報人間工学領域 人間情報インタラクション研究部門 城 真範

個別医療の前提：測定値がどの程度「正常」なのか尺度基準がないと判断できない
 解決策：健康な人と入院患者と無作為な人からとった血液検査値の分布を比べて
 基準のブレを評価する

- ・筑波大：入院患者と人間ドックの血液検査値を医者がヒストグラム化
- ・産総研：筑波大のヒストグラム+基準値(日本臨床検査標準協議会)→モデル化

無作為な対象からの血液検査値

国民栄養調査・筑波大学健診センター

健康な人を選択して得た血液検査値

日本臨床検査標準協議会基準値

関係性

入院患者の血液検査値

筑波大学病院血液検査結果

個別の健康（基準値）に対する知見の整理

産総研

城(数理工学)



筑波大

香川(医師・講師)

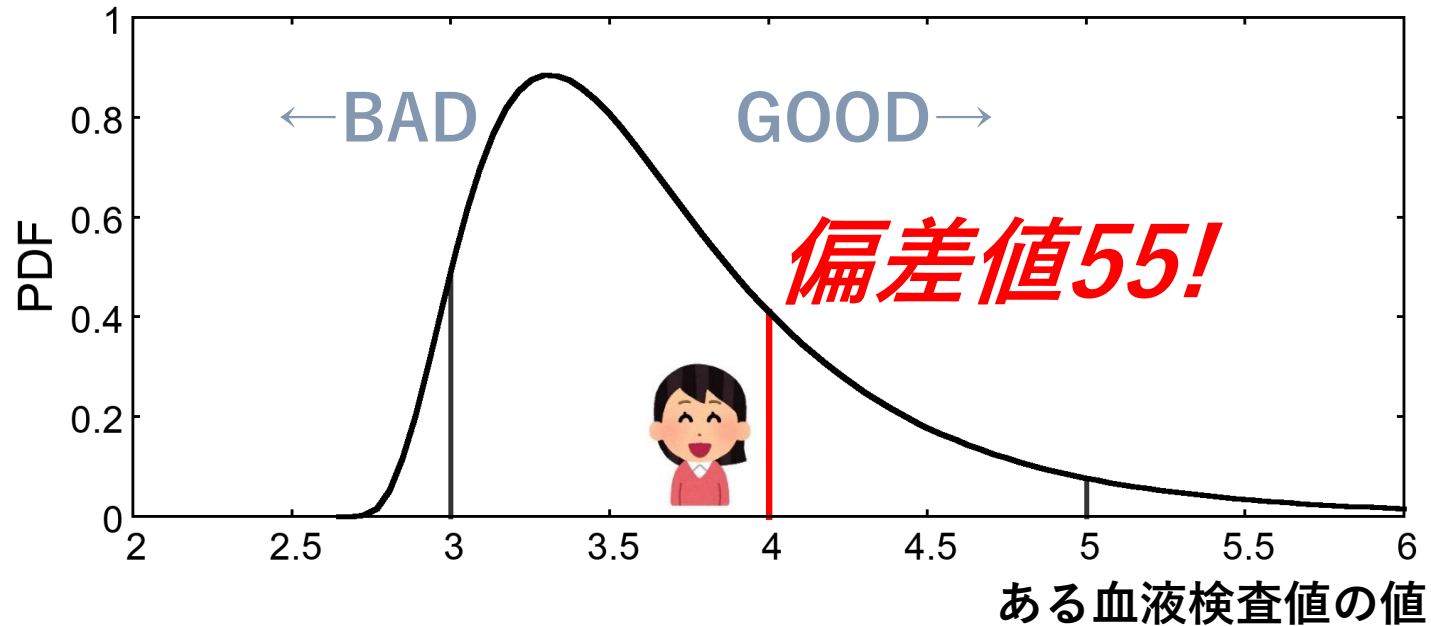
解析 & モデル化

ヒストグラム提供

病院データの匿名化&提供

モデル評価

誰もが自由に自分の健康偏差値を計算できる社会へ



社会全体

